

御朱印を受けよう！

ぐるりさがまちログ 特別編

みなさん、2025年はどんな年でしたか。いいこともあれば、そうではないこともあったかもしれません。1年の始まりといえば初詣ですが、初詣以外でも神社や寺院で祈願や参拝をすることもあるでしょう。参拝の証でもある御朱印の正しい拝受の仕方や県内で受けることができる御朱印などについて紹介します。



御朱印について説明してくれた眞崎実央さん

御朱印は「信仰や参拝の証」

そもそも御朱印とは…。そんな疑問を抱き、佐嘉神社（佐賀市）の禰宜・眞崎実央さんに話を伺いました。御朱印の歴史を調べてみると、鎌倉・室町時代に全国を巡っていた修行者が写経を寺社に奉納した際に受け取った「納経受取状」が始まりと記されていました。「もともとはお寺のものですね。お遍路さんなど巡礼の方がお経を写したものを納める。その証明として印をもらうことが起源だったと言われています」と眞崎さん。いま現在は参拝の証として神社や寺院などで分けられています。元来、寺院と神社は近い関係があったといひます。

眞崎さんは「神社の中にお寺があったり、お寺の中に神社があったり。明治時代以降は神社と寺院が分離されたので、神社としての御朱印はその頃からだったと考えられます」と教えてくれました。

「神様や仏様のお名前が記されたもので尊いもの。眞崎さんは、御朱印の持つ意味をこのように口にします。多くの神社や寺院を参拝すると御朱印帳も増えていき、どのように保管すればいいのか…と頭を抱えてしまうかもしれません。眞崎さんは「粗末な扱いをしてしまうことは困ります。神棚に上げるなど大切に保管をしてもらえれば」と促しています。

寺社を巡って 御

特集



日頃から気軽にお参りを！

近年、新型コロナウイルスの流行など混沌とした時期が続き、「神様や仏様のご加護を願う人が多くなったんだと思います。熱心にお参りをしてくれる人も増えていきました」と眞崎さん。神社や寺院などを含めてスピリチュアルな場所に訪れる機会が増えたと感じています。全国各地の神社や寺院を巡って御朱印を記帳していく人々も少なくありません。1日に複数の御朱印を拝受することは大丈夫ですが、あくまでも「御朱印は信仰や参拝の証。スタンプリートとは違います」（眞崎さん）と強調します。

正しい拝受の方法は、まずお賽銭を投じてお参りをした後に社務所で御朱印帳を提出しましょう。その時は、御朱印をお願いしたいページを開いて渡すとよりよいです。参拝方法はご存じの方がほとんどだとは思いますが、神社では基本的に「二礼、二拍手、一礼」です。手を叩いての参拝方法は魏志倭人伝にも出てくるとのこと、日本人の古い敬礼の作法がいまでも残っていることにつながります。

佐嘉神社は1994年以来31年ぶりに社殿の改修が行われました。幣殿（旧神楽殿）の床を下げて土間にし、建具や格子などを取り除いて拝殿正面から本殿までの見通しが良くなりました。さらに、拝殿と旧幣殿を一体化して拝殿を拡張して収容人数を増やし、祭典時や祈禱などの参拝者が本殿をより近くから拝むことができるようになりました。

佐嘉神社で受けることができる御朱印は、佐嘉神社と松原神社の2種類で「御朱印自体は一般的なものになります」と眞崎さん。普段は社務所で書いてもらうのですが、今回は特別にその様子を目にする事ができました。書き慣れていることもあると思いますが、短時間で、力強くきれいな



佐嘉神社



松原神社

文字を書かれる姿に感心するばかりでした。

神社でのお参りといえば、初詣や七五三などの「イベント」で行くイメージが強いかもしれませんが、敷居の高さを感じることもあるかもしれません。ただ、そんなこととはないそうです。眞崎さんは「佐嘉神社と松原神社は、（佐賀藩10代藩主）鍋島直正公など佐賀のお殿さま、いまの佐賀というまちづくりをされてきた神様が祀られています。佐賀の皆さんの守り神。普段から気軽にお参りに来ていただければ」と呼びかけています。

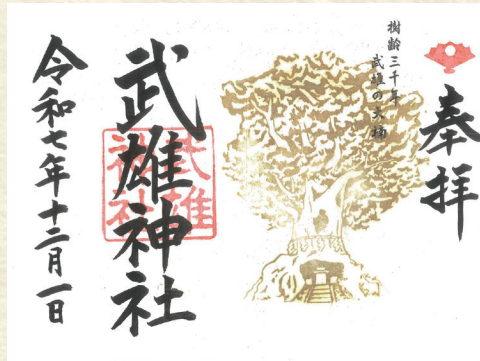
御朱印については、受け取りができる時間や初穂料など、神社や寺院によって異なります。さらに、場所によっては直書きをいただくまでに時間を要してしまうこともあり、特に1月は初詣の時期も重なるために書き置きでの対応になる場所もあるかもしれません。参拝をする神社や寺院に前もって連絡をして確認することをおすすめします。



武雄神社

(武雄市)

武雄市武雄町大字武雄 5327



735年に創建されたとされる武雄神社は武内宿禰など五柱を総称した「武雄大明神」を祀っている。御朱印帳には流鏑馬の勇壮な姿や縁結びの御神木「夫婦檜」が描かれています。御朱印は、切り絵や直書きなどレパートリーが豊富です。福岡県を拠点とする現代書道アーティストの剣臈 (Kenro) さんがデザインした龍の絵や毎年10月に神事が行われる流鏑馬が描かれたもの、五円札の肖像に採用された武内宿禰の印が入ったものなど多くの種類から選ぶことができます。中には金箔が施されているものもありました。参拝後に悩んだ末に「武雄神社といえばやっぱりこれ」と、推定樹齢3000年の大楠の御朱印に決めました。モチーフ付きのレース御守りは写真映えしそうな可愛らしさが目を引きま

福母八幡宮

(大町町)

杵島郡大町町福母 2227



866年に創建され、福の母と呼ばれる神功皇后が主祭祀の福母八幡宮。御朱印帳は3種類で、月替わりの直書き御朱印は四季折々の季節を感じることができ、12月は1ページに「ポインセチア」見開きに「菊と雪」がデザインされています。御朱印は毎月変わる月替わり御朱印を2種類頒布されているとのこと。正月から出される切り絵(なくなり次第終了)は、干支の午と神功皇后が赤ちゃんを抱きかかえて、魔除けの矢を担いでいる姿があらわれています。神功皇后には黄色のラインストーンがついています。御朱印のほかに、願い事を書いた紙を御守り袋の中に入れることができる「いろは守り」がおすすめのこと。一つとして同じ柄はないので、自らの直感で選んで世界に一つだけのお守りを受けることができます。境内の樹齢約500年の大楠の周りを健康成就を祈りながら回って参拝を終えました。



祐徳稲荷神社

(鹿島市)

鹿島市古枝



日本三大稲荷の一つに数えられ、商売繁盛や家運繁栄、大漁満足など、さまざまな祈願に年間300万人が訪れている祐徳稲荷神社。御朱印帳は紺とピンクの2種類で、本殿などが描かれています。直書きの御朱印は祐徳稲荷神社の1種類で、祐徳稲荷神社の先にある「奥の院」の書き置き御朱印もあります。祐徳稲荷神社の印は稲穂の雰囲気を感じることができ、奥の院のものは山の中に連なる赤い鳥居があらわれています。なかなか訪れることができない人のために「オンライン授与所」も設けています。通常の御朱印には「奉拝」と書かれていますが、遠くの地から拝んでほしいという思いを込めて「遙拝」と記されています。これまで、何度か参拝する機会はありませんでしたが、奥の院まで行ったことはありませんでした。300メートルほどと聞き、歩を進めると想像以上の階段に心が折れかけました。ただ、有明海などを一望できる奥の院からの眺めで疲れが一気に吹っ飛びました。



伊勢神社

(佐賀市)

佐賀市伊勢町9-8



長崎街道に面した佐賀市伊勢町の静かな一角に鎮座している伊勢神社。戦国時代に現在の吉野ヶ里町で暮らした男性が40回以上にわたって、伊勢神宮(三重県伊勢市)に参詣したとされ、その信仰心のあつさが認められ、伊勢神宮から分霊を受けたとされています。伊勢神宮からこれだけ破格の恩恵を受けているのは全国でも佐賀市の伊勢神社だけで、「九州のお伊勢さん」として親しまれている。御朱印は伊勢神社と大神宮恵比須の2種類があります。シンプルなデザインの中に「九州のお伊勢さん」の印が入っていたり、にこやかな笑顔を見せる七福神の一人「恵比須さま」の印が押されたりしています。伊勢神社では毎年2月に「伊勢大祭」が開かれています。福餅投げや福引きなどが行われ、多くの参拝客でにぎわいを見せます。佐賀で「伊勢の空気」を感じてみてはいかがでしょうか。

新北神社

(佐賀市)

佐賀市諸富町為重三重1080

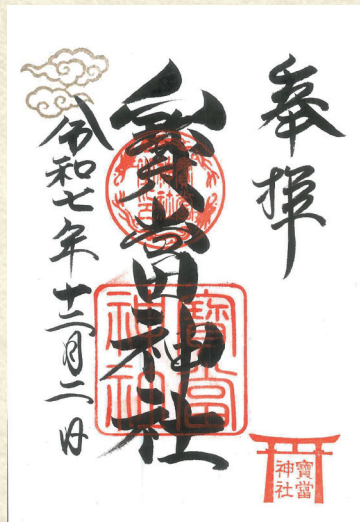


新北神社の御神門をくぐった先にある樹齢1600年の楠、さらに進むと社殿右手の御神木「びやくしん」が天に向かって伸びる姿はどちらも圧巻です。境内にそびえる「びやくしん」は樹齢2200年といわれ、不老長寿の仙薬を求めてきた徐福さんが手植えしたと伝えられています。天に突き上げる姿が、縁起のよい飛龍に見えることから「日本三大飛龍木」として願いをかなえてくれるとされています。御朱印は書き置きで対応していて、今回はびやくしんが中央に描かれたものを受けけることにしました。1月には「奉拝」の部分が、金色の文字で「新春」になるそうです。このほかにも、600年の歴史を誇り、国内では珍しく正月と秋祭りに奉納される「三重の獅子舞」がデザインされた御朱印や、左手の神社で祀られている宮地嶽神社、恵比寿社、稲荷大明神の御朱印も受けられます。1、2月は御神門に巨大えびす様が掲げられるとのこと、その下をくぐって福を授かることができます。

宝当神社

(唐津市)

唐津市高島523



唐津城を眺めながら定期船に乗り込んで10分ほどの高島にある宝当神社。ある島民が名前の縁起が良いと宝くじを購入して祈願したところ高額当選したことが広まったといわれています。信州の国から船でたどり着き、海賊を追い払って島を守った英雄・野崎隠岐守綱吉が祀られています。直書き御朱印は力強く「寶當神社」と書かれている1種類。切り絵は和歌山県出身で唐津市に移住した切り絵師の谷上ひかるさんがデザイン。綱吉と金運に良いとされている白虎、3年半前に他界した夫が好きた龍などにちなんで作成されています。字が上手だった夫の字体を残したいという思いで、切り絵や書き置きの御朱印で使われています。また、年末ジャンボ宝くじの販売期間限定の書き置きの御朱印も人気があるということです。宝くじに加え、企業の入札やコンサートチケットの当選祈願なども増えているそうです。嵐として活動していた大野智さんも足を運んだ神社で、験担ぎをしてみています。

唐津神社

(唐津市)
唐津市南城内3番13号



毎年11月2～4日に開催され、ユネスコの無形文化遺産に登録されている秋季例大祭「唐津くんち」で有名な唐津神社。唐津市中心部に位置し、真っ白な鳥居がそびえ立っているのが印象的です。手書きの御朱印は基本的に1種類で、鳥居や曳山の印が押されています。唐津くんちの期間限定で書き置きの御朱印が頒布されているとのことで、来年こそは時間を作って雰囲気味わってみたいな、と思いながら本殿前で手を合わせました。

仁比山神社

(神埼市)
神埼市神埼町的1692



春の新緑と秋の紅葉が期間限定で一般公開される国の名勝「九年庵」から少し歩みを進めると物静かな空間に鎮座していました。農や酒、医薬の神として崇められている仁比山神社。12月に入りましたが、まだ紅葉を楽しむことができる場所もあって、晩秋の空気をゆっくりと感じることができました。直書きの御朱印には宮司がもみじの葉から形を取った手作りのスタンプを押してくれました。今度は、新緑を味わえる時期に足を運ぼう。



今回の特集を企画するに当たって、実際に参拝をして御朱印を受けてきました。神社や寺院は「何かしらが行けば行く機会がない」「普段から行ってもいいのだろうか」という場所だという固定観念がありました。話を伺う中で、願いを祈るだけではなく、心を落ち着かせるために足を運んでもいいのか、と感じ始めました。普段は見かけないようなさまざまな種類のお守りも並んでいて、「またこの場所を訪れたいな」という気持ちも強くなりました。まだまだ県内だけにとどまらず、全国には多くの寺社があります。この取材を契機に今後も参拝して、その証「御朱印」を集めていこうかな。

蠣久天満宮

(佐賀市)
佐賀市鍋島町蛸久1448



太宰府天満宮から分霊を受け、龍造寺氏や鍋島氏に庇護を受けてきたという長い歴史があるとされています。雨上がりに足を運び、書き置きの御朱印を拝受しました。蠣久天満宮は、新たな1年を前に「巳」と「馬」の文字があしらわれている御朱印でした。神社内には龍樹菩薩座像を安置している堂も残っていて、笑顔を浮かべた「菩薩さま」ときらびやかな多くの星が描かれた御朱印も受けることができました。

牛嶋天満宮

(佐賀市)
佐賀市東佐賀町15番30号



学問や文化芸術、厄除けの神様として仰がれて太宰府天満宮（福岡県）の御祭神でもある菅原道真の子孫・牛島教正によって1151年に創建されたとされる牛嶋天満宮。住宅街の中にひっそりとたたずんではいますが、境内の楠など緑が豊かで心が休まる趣深さを感じました。あいにく参拝をした日は宮司さんたちがいらっしやなかったで、短歌が記されて、その短歌に合わせたデザインの書き置きの御朱印を拝受しました。

総本山 本福寺

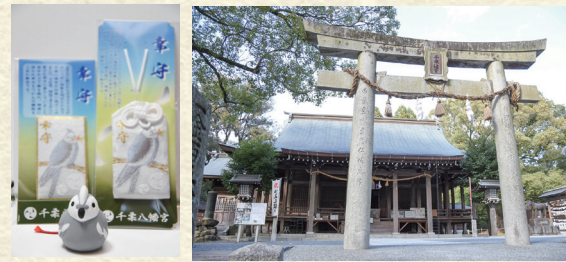
(基山町)
三養基郡基山町大字宮浦2120

緑深い山道を登ると、まぶしい朱塗りの本堂が見えてきます。飛鳥時代に日本最古の山城「基肆城」が築かれた跡地に位置する総本山本福寺は、平安時代に空海が修行をしたという歴史が深く由緒ある場所です。善法堂の内部には木造としては日本最大級とされる6メートルの不動明王大仏が祀られ、西日本最大級の五重塔も目を見張ります。御朱印は、直書きや切り絵など20種類ほどと豊富。香り付き御朱印には縁起物の白蛇の皮も貼られ、もみじや雪の結晶などの貼り絵が施された御朱印もすぐ手が込んでいました。中でも「おふどうさん」として親しまれる不動明王の御朱印は最も迫力がありました。御朱印や祈願を待っている間に休憩することができ「寺カフェ」が7年前に開かれました。護摩焚きの祈禱は災難を除いて幸福をもたらすとされています。元旦にきれいな初日の出を拝み、初詣で商売繁盛や厄除け、開運招福などを祈願しに足を運んでみてください。



千栗八幡宮

(みやき町)
三養基郡みやき町白壁2403



724年に創建された千栗八幡宮。壬生春成の弓の先に止まった1羽の白鳩が八幡宮の神の使いと喜び、その夜におじいさんから千個の栗を授けられた夢を見て、目を覚ますと千本の栗の木が生えていたことが由来とされている。伊勢神宮に似せているという御朱印はシンプルで、印を見てもうたに文字と印を重ねていません。御朱印帳には神社の名前に入っている「栗」が描かれているものや、この神社で3年ほど保護されていた「オカメインコ」がデザインされたものが用意されています。オカメインコはガラスに迫られて本殿に舞い込んできて、この神社で保護されていました。約1300年ぶりに飛来したことを縁起の再来としてオカメインコの「幸守」も奉製されています。パルセロナ五輪で柔道男子71キロ級金メダリストの古賀稔彦さんが幼少期に鍛錬を積んだとされる146段の階段。古賀さんの功績に思いをはせながら石段を上り、祈りを捧げました。

陶山神社

(有田町)
西松浦郡有田町大樽2-5-1



階段を上ると松浦鉄道の線路があり、その先に大きな鳥居が待ち構えていました。日本最古の磁器と言われ、400年以上の歴史を誇る有田焼の陶祖神が祀られている陶山神社。鳥居をくぐった先の階段をさらに進むと、唐草模様の陶磁器の鳥居が姿を現します。鳥居だけではなく、境内にある狛犬や欄干、灯籠なども陶磁器で作られていて、写真に収める観光客の姿も多く見られます。御朱印は基本的に直書きで、1月は「難を転ずる」という意味合いを込めて南天が描かれているものを受け取ることができます。この他にも複数の種類が用意されていて、せっかくなので陶磁器の鳥居と紅葉がデザインされた御朱印をいただきました。有田焼で作られた御守りも魅力的で、干支が描かれた御守りを家族4人分手にして帰路につきました。大きなイチヨウの木が存在感も抜群で、そのそばにあった「打ち出の小槌」で財布を3回、優しく叩きました。何かいいことありますように！